

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕事の内容	長寿祝金等支給事業				
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書 (ページ)	51	

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業 5	高齢者慶祝事業
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	------	---------

1 この仕事の目的	<b>① 誰(何)を対象にしていますか。</b> 100歳以上の市民 最高齢者 30,000円を支給 百歳以上者 10,000円を支給	→	<b>① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)</b> 市内65歳以上の高齢者数(4月1日現在)
	<b>② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]</b> 長寿を祝うとともに、敬老の意を表すことで、高齢者自らの生活意欲の向上と生きがいの増進につなげてもらう。	→	<b>② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)</b> 100歳以上の市民
	<b>③ そのために何をしましたか。</b> 最高齢者(4月に訪問)及び100歳以上の市民(誕生日またはその翌月に訪問)に祝金を支給し、花束を贈呈している。最高齢者及び新百歳に対しては、市長が表敬訪問している。	→	<b>③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)</b> 100歳以上の市民

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	21,957	22,350	22,711	/
	成果指標	②の数値	人 歳	32 最高齢者106	36 歳高齢者104	37 最高齢者105	/
	目 標	②の目標値	年度ごとに対象者が決まっているので、目標を設定するにはなじまない。				
	活動指標	③の数値	人 歳	32 最高齢者106	36 歳高齢者104	37 最高齢者105	/

3 経費	事業費(実績)		円	512,800	563,600	584,400	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	512,800	563,600	584,400	
		特定財源	円	0	0	0	
	(うち受益者負担)		円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	826,700	825,300	824,400		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	1,339,500	1,388,900	1,408,800		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	昭和50年度から88歳以上の市民に対し、敬老金のほか、長寿を祝うため長寿祝金としても、5,000円を追加支給していた。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 対象者増加により見直しを行い、平成13年度以降は100歳以上を対象としている。

仕 事 の 内 容	長寿祝金等支給事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	特になし					
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容					
	慶祝事業については、公費を支出することに議論がある。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	事業の見直しも含めて検討した。					
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	特になし					
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」)の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など					
	特になし					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
成果	特になし					
	(3)改革・改善案による期待成果					
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。	